



いがらし博文県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

成田環状道路の整備促進迫る!

6月県議会予算委員会に登壇

県議1期目ながら真摯な議会活動を続ける富里市選出の五十嵐博文(いがらし・ひろふみ)県議は、6月定例県議会の予算委員会質疑に登壇し、地域の重要課題を取り上げ、県執行部の姿勢をただしました。五十嵐県議は、県が策定している空港周辺地域の「成田環状道路」について、

計画に進展が見られないことを厳しく指摘し、県による主導的な整備促進策を強く求めました。農業分野における外国人労働力の活用や、脳卒中など重篤な救急患者の救命活動を行う第3次救急医療のあり方などを質問。五十嵐県議の主な質疑を特集しました。

道路ネットワークの柱

五十嵐委員 平成3年3月に、県は北総広域都市基本計画策定調査報告書の策定により、空港周辺地域の一体性、周遊性を確保する環状の軸として、成田環状道路を示しています。その後も環状・放射状道路の整備促進を図るものとして



成田環状道路の図面を示して議論する五十嵐県議

そこで質問します。空港周辺地域について、過去より県は国際交流拠点としての都市機能を備えた地域とし、特に成田環状道路をネットワーク型の地域構造を構築する、道路ネットワークの柱としていますが、この方

県が主導的役割を

針に変わりはないのか。都市計画課長 県の都市計画の方針である都市計画区域マスタープランでは、拠点となる市街地及び成田国際空港を中心とした環状・放射状の有機的な形成に努めるという事です。

五十嵐委員 成田環状道路の現在の状況を、どのように考えているのか。

都市計画課長 成田環状道路は、具体的な位置やルートについて未定の状況です。

五十嵐委員 成田環状道路というのは、都市計画サイドだけが作っているのではなく、道路サイドも同じものを作っています。この両方の資料を見比べても、未定といえるのか。今一度伺いたい。

都市計画課長 県の都市計画区域マスタープランでは、その方針として放射状・環状の道路ネットワークとしています。調査を過去に実施した結果として構想図があり、それを市町村が市町村の都市計画マスタープランを策定する段階において、

農業分野に外国人材の活用を!

五十嵐委員 千葉県は農業産出額全国第2位を目指して取り組んでいます。全国2位の茨城県と比較すると、いかに耕作放棄地を減少させるか、あるいは1戸当たりの経営耕地面積を増やすがポイントとなります。まさに、労働力の確保が左右すると思え、現に外国人技能実習生を比較しても、平成26年度で茨城県が2千48人に対し、本県は558人と労働力の差を感じます。県は、外国人材の活用について、情報収集に努め、各産地の意向を確認しながら、効果的な支援策を検討

担い手支援課長 県内の外国人材の活用状況や意向を把握するため、3月から5月にかけて、農業者団体の会員に対するアンケート調査のほか、海匝地域など県内の主要産地5地域において、農協や農業者等に対し、聞き取り調査を実施しました。

この調査では、外国人技能実習制度の実習期間の延長や技能実習生の再来日、農繁期のみ受け入れなどの意向があることを把握することができました。

国家戦略特区の活用

五十嵐委員 国家戦略特区の活用も含め、農業分野への外国人雇用は、求められる実態からも、非常に有効であると思つています。今年度の追加指定も視野に、提案を行うべきと考えますか。

農林水産部長 農業従事者の高齢化や農家数の減少が進む中、本県農業の維持・発展を図るためには、雇用導入による規模拡大が必要で、今後は、国家戦略特区の提案による外国人材の活用も含めた効果的な対応策を検討し、労働力の確保に努めていきます。

農林水産部長 国家戦略特区の指定を受けるには、県からの規制改革のほかに、県全体の革新的な経済成長に貢献するような提案が必要ということを内閣府からきつく指摘があります。

本当に難しいこととは分かっていますが、県は道路でも農業でも、生懸命力を注いでいただいています。もう一歩抜けて、しっかりと準備、検討していくことを要望します。

道路サイドと都市計画サイドが、しっかりと話をし、成田環状道路について、もう一度議論していただくよう要望します。

五十嵐委員 検討すると

五十嵐委員 検討すると

五十嵐委員 検討すると

消防本部連携・協力のあり方問う



予算委員会で質問する五十嵐県議

消防力の格差を指摘

五十嵐委員 各市町村の財政状況はもとより、今後の車両の更新等も控える中で、消防本部間の格差も生じることで、消防力の低下を招くのではないかと懸念します。現在の県内消防本部の状況を、県はどのように考えているのか。

五十嵐委員 消防費、その平均年齢等、年度間の比較でも、その差は年々広がっています。これに対し、どう捉えているかという質問です。今度お答えください。

防災危機管理部長 県内の消防本部では、近年、災害が大規模化、多様化する中で限られた財源と人員で出動体制、保有する消防車両、専門要員の確保など必要な消防力の維持・拡充に努めているものと認識しています。

防災危機管理部長 市町村の現状として、市町村間には財政力の差があり、各消防本部では厳しい財政状況の中、補助金や起債などを活用しながら、住民の安全を確保する上で必要な消防力の確保にご尽力いただいているものと認識しています。

連携・協力の推進策

五十嵐委員 県は、消防の連携・協力の推進について、どのような役割をもって取り組むのか。

消防課長 本年4月に消防庁から示された通知では、直ちに広域化を進めることが困難な地域においても、

事務の一部について連携・協力を進めることを目指しています。県では、この通知を速やかに市町村に周知したところです。

通知では、消防の連携・協力の推進について、共同指令のほかにも、消防用車両の整備や専門的な人材育成等が示されています。今後、広域化や連携・協力に向けた市町村の考えや現状を把握することが大事だと考えています。その上で、必要な助言や調整を図ってまいりたいと考えています。

五十嵐委員 消防の連携・協力の推進策について、今度、関係部署も合わせ、協議すべきではないか。

消防課長 消防の連携・協力に当たっては、本県における広域行政の今後のあり方にも関わってまいります。関係部署の意見や方針を踏まえつつ、その方策について検討してまいります。

広域化は消防法で謳われているが、連携・協力はそういった縛りがあります。つまり、県の判断によって、リーダーシップの度合いが変わってきます。

ぜひ千葉県の各消防本部の実情を踏まえたならば、県が先導的に動くことで、各消防はそこに協力していく、あるいは連携・協力につながると思うので、ぜひお願いします。

3次救急医療へ支援を要請

重篤患者の救命救急

五十嵐委員 第三次救急医療は、事故や災害の多様化とも併せ、重篤患者の受け入れとして重要性が高まっています。県は、第三次医療について、現在の状況をどのように受け止めているのか。

医療整備課長 千葉県保健医療計画では、初期診療等を行う初期救急医療、入院や手術を必要とする救急患者に対処するための二次救急医療、そして心筋梗塞、脳卒中、頭部損傷等の重篤救急患者の救命救急を受け持つ三次救急医療と体系的な整備を図ることとしています。

それぞれの医療機関が、必要な役割を果たす中、三次救急医療機関には、重篤患者を受け入れる最後の砦として、高度で質の高い救急医療の提供を期待しているところです。

五十嵐委員 第三次救急指定病院には、高度化している医療水準に適応するべく先進的な医療や、難易度の高い手術を、今後さらに求めるべきと考えるが、県の見解はどうか。

医療整備課長 三次救急医療は、心筋梗塞などの重篤救急患者の救命医療を行

センターに、その役割を担っていただいているところです。県としては、三次救急医療機関の支援を行うことにより、今後も医療提供体制の充実、強化に努めてまいります。

病院運営費に補助

五十嵐委員 完結した事例だが、医療機関の整備に

医療整備課長 県では、救命救急センターである成田赤十字病院に対しては、毎年、センターに係る運営費補助を行うとともに、施設整備補助も実施してきたところです。

委員ご指摘の事例のような医療機器の更新の場合には、その内容により、県や地域医療再生基金事業の補助対象となることも、ならないこともあったと考えています。

五十嵐委員 今後、事例も踏まえ、第三次救急指定病院の支援について、県はどのような支援を行っていくのか。

医療整備課長 県では、

農林総合研究センター

五十嵐委員 県農林総合研究センターの再編整備事業について、的確な研究課題の設定と、速やかな普及定着を図るべき、研究マネジメント体制の構築は常に求められています。現在の状況をどう評価しているのか。

担い手支援課長 研究課題の設定に当たっては、現地から要望のあった課題について、「千葉県農林水産技術会議」で緊急性や重要性を十分に審査した上で、現地

三次救急医療の役割を担っている救命救急センターに対し、運営費や施設設備整備に係る支援を行っており、今年度の予算で運営費補助約8億8千万円、施設設備費補助約7千1百万円を計上しているところです。今後も、こうした支援を行うことにより、三次救急医療体制の充実・強化に努めてまいります。

どこかに一方的な負担が発生してしまつと保健医療計画が進みません。その時その時にしっかりと関係者間で調整していただきたい。

●富里市と県政に関するご要望をお寄せください。

いがらし博文 県事務所

〒286-0221 富里市七栄646-759
TEL0476-90-2801 FAX0476-90-2802